



2018年10月のロータリーレートは1ドル=112円

今年度のテーマ



インスピレーションになろう



2018-19年度RI 会長  
バリー・ラシン氏  
East Nassauロータリークラブ  
パハマ (ニュープロビデンス島)



2018-19年度ガバナー  
若林啓介氏 (富山RC)



助田忠弘 S.A.A.

## 例会便り

第 935 回  
10 月 11 日  
例会出席 20/43 46.51 %  
ホテル日航金沢 5 F

## 点 鐘

1. ロータリーソング  
『 奉仕の理想 』
2. 四つのテスト
3. 武藤清秀会長挨拶



## 《食 事》

### 4. ゲスト・ビジターのご紹介

- (1) ゲスト [卓話者] 稲置学園顧問・星稜高校野球部名誉監督  
山下智茂 (やました ともしげ) 様
- (2) ビジター 白山石川RC 福田 裕 (ふくだ ひろし) 様

### 5. 幹事報告・委員会報告



[幹事報告] 東海林也令子副幹事:

- ①本日例会終了後、「梅の間」において理事会を行います。
- ②来週の例会は3F「孔雀の間」で行います。卓話者は元米山奨学生のソバナさんです。

6. ニコニコBOX紹介 ¥7,000- 本年度¥117,000- 残高¥4,214,029-



武藤清秀会長: 皆さん今晚は。山下名誉監督、今日の卓話よろしくお願ひします。白山石川RC福田様、いつも有難うございます。

大路孝之会員: こんばんは! 山下様、今日の卓話楽しみにしています!

吉田昭生会員: 世に監督は多けれど名将と呼ばれるはまれなり。山下智茂氏こそ、その人なり。中秋の一夜をゆっくりと楽しみたい。宜しくお願ひします。

矢来正和会員: 45年振りの授業を楽しみにしています。10期 木坂ホーム卒。

### 7. 卓 話

山下智茂氏 「 野球から学ぶ人生 」

紹介者:



吉田昭生会員

# ありがとう 高校野球38年の一期一会に感謝します

(略歴)

石川県立門前高等学校卒業  
駒澤大学経済学部卒業  
星稜高等学校教諭(野球部監督) 副校長  
学校法人稲置学園 理事  
金沢星稜大学特任教授  
財)日本高等学校野球連盟 技術・振興委員 副委員長  
財)日本高等学校野球連盟 評議員  
選抜高等学校野球大会 選考委員(中国・四国地区委員長)



現在

学校法人稲置学園 顧問  
星稜高等学校野球部名誉監督  
甲子園塾長(高校野球若手指導者の育成)  
甲子園歴史博物館顧問  
全日本アマチュア野球連盟 選手強化本部理事  
財)日本高等学校野球連盟 特待生問題研究委員  
財)日本高等学校野球連盟 プロアマ健全化委員

<実況中継>

春の選抜高等学校野球大会(毎日放送)  
夏の全国高等学校野球選手権大会(朝日放送)

- ◎ 地区大会優勝 北信越石川県29回 春15回 秋14回  
北信越本大会15回 春 8回 秋 7回  
(春、秋 6連覇)

(全国大会出場)

- ◎ 甲子園出場25回  
・春の選抜大会11回(ベスト8 2回)  
・夏の選手権大会14回(準優勝1回、ベスト4 2回)  
◎ 国民体育大会出場7回(優勝1回、準優勝1回、3位 3回)  
◎ 神宮野球大会出場6回(優勝2回、準優勝1回)

(卒業生)

プロ野球選手 17名 ◎日本学生野球協会表彰選手(21名)

- ・小松 辰雄(元中日ドラゴンズ 解説者)
- ・音 重鎮(元中日ドラゴンズスカウト)
- ・湯上谷 宏(元福岡ソフトバンクホークス 解説者)
- ・村松 有人(福岡ソフトバンクホークスコーチ)  
※アテネオリンピック銅メダル
- ・山本 省吾(福岡ソフトバンクホークススカウト)
- ・松井 秀喜(元巨人、ニューヨーク・ヤンキースGM(補佐)・コーチ)  
※平成25年国民栄誉賞受賞

(受賞等)

- ◎ 平成2年 日本親善大会石川選抜チーム監督  
◎ 平成3年 高校全日本監督(台湾)  
◎ 平成4年 高校全日本監督(韓国)  
◎ 平成5年 高校全日本コーチAAA(フィリピン)



- ◎ 〃 第3回 いぬわし賞
- ◎ 平成6年 北国スポーツ特別賞
- ◎ 平成7年 中日教育賞、いしかわ中日体育賞
- ◎ 平成9年 第17回金沢市文化活動賞
- ◎ 平成15年 イヤー・オブ・ザ・コーチ（日本高校野球連連盟・朝日新聞社）
- ◎ 平成18年 いしかわ中日体育賞・特別賞
- ◎ 平成17年 ハワイ選抜親善大会石川県選抜チーム監督
- ◎ 平成23年 高校全日本チームAAA GM（日本）金メダル
- ◎ 平成28年 功労賞、感謝状（日本高等学校野球連盟・朝日新聞社・毎日新聞社）

「人間形成の野球学」と銘打ち、野球を一つの学問に捉え、技術以上に「心の教育」を主体とした指導方針の中で「日本一のマナーで全国制覇」を目標に日々精進を重ねていた。現在、甲子園塾長として、若手の高校野球指導者育成など、日本の高校野球の発展を目的とした活動を中心としながら、海外でも発展途上国の野球の指導を行っている。

#### 第1期黄金時代

◎ 昭和43年～昭和64年（21年間）

— 勝つ野球 —

- ・ 甲子園13回出場（春6回、夏7回） 甲子園7勝15敗
- ・ 夏ベスト4 1回
- ・ 春ベスト8 1回
- ・ 神宮大会 優勝1回、準優勝1回
- ・ 北信越大会 6連覇
- ・ プロ野球選手 7人 小松（中）、北（横）、若狭（中）、湯上谷（ソ）、鈴木（巨）、村田（ソ）

#### 第2期黄金時代

◎ 平成元年～平成15年（15年間）

— 育てる野球 — 進学校に（国立100～150人）

- ・ 甲子園12回出場（春4回、夏7回） 甲子園15勝10敗
- ・ 夏ベスト4 1回
- ・ 春ベスト8 1回
- ・ 神宮大会 優勝1回、準優勝1回
- ・ 国体 優勝1回、準優勝1回
- ・ 全日本監督 1回
- ・ 全日本コーチ（第2回AAAフィリピン）
- ・ プロ野球選手 10人 松井（巨）、村松（ソ）、山本省（近）、辻（ソ）、北野（ソ）、高木（巨）島内（楽）、西川（中）、岩下（ロ）、森山（日）
- ・ 台湾遠征、石川県監督（星稜16人、2名他校）神宮優勝で！
- ・ オール石川の監督 2回（韓国選抜チーム、ハワイ選抜チーム対戦）
- ・ 第9回AAA大会 ゼネラルマネージャーで金メダル



甲子園通算 25回出場  
22勝25負

○ 2005年（平成17年）8月31日 勇退



## COP21パリ協定とエネルギーミックス（番外編）

### 原子力技術の継承とCO<sub>2</sub>排出

出来ることなら原子力発電をこの日本から葬り去りたいと思っている国民（私も含めて）がほとんどだと思う。ただ原子力技術の場合いったんゼロにすると、何十年後、何百年後復活は大変である。例えば原子力を安全にコントロール出来るようになって原発を作ろうと思っても、1度失われた技術は復活させるのが大変、単純な原発用ボルト1本さえ作るのも大変でありおそらく復活出来ないだろう。原発ゼロではなく、ドイツのように1基は最低稼働させておく必要はある。それと同じく廃炉の技術の習得は絶対に必要であり、特に福島第一原発の廃炉はウラン燃料の溶融もあり、悪戦苦闘困難に次ぐ困難今後30年、50年、いや100年事業とも言われている。頑張っただけでしかり廃炉技術を磨き習得して、この際もうこうなったら世界に冠たる技術を持ち今後世界中の廃炉マーケットのキーマンとして活躍してもらいたいものだ。

原子力発電の重要性は再生可能エネルギーと違って365日24時間休まない発電能力に帰する。太陽光や風力もCO<sub>2</sub>を出さない優れたもので安全性も高いが、天候に左右され常時安定発電が出来ない。その結果バックアップに火力発電を頼りにするほかはない。ベースロード電源として今のところ原子力と火力しか存在せず、厳しい新安全基準に合格した原発を使用した方が火力よりも、低コストでCO<sub>2</sub>を排出しない電源を発電企業も電力消費する企業も使いたい、つまり経済性の問題が第一と考えるべきだろう。よく世間で言われているように「電力は生もの」つまり作った端から使わなくてはならず電力は保存出来ない（電池に代表される蓄電は生で使う電力と比較して1000倍経費がかかる）。

さて今年3月3日の日本経済新聞によれば世界の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出が3年ぶりに増え過去最高となった。CO<sub>2</sub>は主に化石燃料を燃やすことで発生するが、森林消失や土地利用変更なども影響する。しかし好調な世界経済を背景に新興国や途上国で自動車の保有が増えたことがCO<sub>2</sub>の増えたことの原因であると国際エネルギー機関は分析している。

一方米国、英国、ドイツ、日本等のCO<sub>2</sub>排出は減少している。特に英国は脱炭素に積極的に前年より3.8%減で1960年以来の水準となった。

一方石炭や褐炭での火力発電が盛んなドイツ（45%火力）や火力発電主体の日本（81%火力）では、環境保護団体が各国がどれだけ温暖化防止のため努力し効果を上げているかを2015年度のリストでは、今まで指導的役割を果たしていたドイツが58ヶ国中19位、日本に至っては58ヶ国51位と情けない状態である。

ただ、まったく違った視点からCO<sub>2</sub>の問題を考えるなら見方が変わってくる。実のところドイツや日本が火力発電を石炭でやろうが天然ガスでやろうが世界のCO<sub>2</sub>排出量の増減とはあまり関係ない。なぜなら現在でも米国の1.7倍のCO<sub>2</sub>を排出している中国は、ギガワット級の石炭火力発電所を年に50基ずつ建設しているのだから、そしてインドもまた中国に追随している。

とにもかくにも新興国・途上国のCO<sub>2</sub>は更に更に増え続け、近い将来ほとんどのCO<sub>2</sub>排出は上記の国々のものであり何か効果的な事をするつもりなら、先進国自分自身の努力よりも新興国・途上国を手助けした方が良い。つまり発電の熱効率が良くしかもCO<sub>2</sub>排出の少ない火力発電所の開発支援、或いは安全な原子力発電所の技術提供をするといった道が残されている。





実りの秋

**クラブ例会予定**

- 10/18 バジューチャリア ヲハナ氏  
2003～05 米山奨学生/  
在ホール日本国大使館職員
- 10/25 意見交換会 (卓話なし)
- 10/27～28 地区大会：富山市
- 11/1 **振替休会**
- 11/8 高山健太郎氏  
(株)ノエカデイルクター
- 11/15 オープンロータリー例会
- 11/22 蒲田ちか氏  
(株)ロータスコンセプト社長

**2018～19理事役員名**

**役員 (8名)**

会長 武藤清秀      会長エクスト 大路孝之      副会長 江守道子      幹事 井上正雄  
副幹事 東海林也令子      会計 西村邦雄      S. A. A. 助田忠弘      直前会長 上杉輝子

**理事 (14名)**

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一      地区パスト幹事 岩倉舟伊智

委員会	クラブ管理 運営委員会	会員組織 委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会			
委員長	布施美枝子	表 靖子	上田喜之	野村礼子			
副委員長	浦田 哲郎	宮永満祐美	矢来正和	魏 賢任			
委員	①親睦 浦田哲郎 後出博敏	①会員増強 東海林也令子 井口千夏 上杉輝子	①広報 高田重里 辰巳クミ	①職業奉仕 谷伊津子 大沼俊昭 相良光貞 道端勝太	②社会奉仕 土田初子 北村信一 吉田昭生	③国際奉仕 R財同その他 岩倉舟伊智 炭谷亮一 大平政樹	④青少年奉仕 国際青少年交換 江守道子 金 沂秀
	②例会 例会 仲島康雲 杵屋喜三以満 永原源八郎	②リレーション 宮永満祐美 野城 勲	②ロータリー情報 水野陽子 竹田敬一郎			米山奨学会 藤間勘策 魏 賢任	
	SAA 助田忠弘 衣川昭浩		③会報 矢来正和 石丸幹夫 柿木健雄				
	CCC 木下直知子 小浦真一 柴田未来						

例会場 ホテル日航金沢5F〒920-0853金沢市本町2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日19:00

事務室 ライブ1ビル2F〒920-0852金沢市此花町3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページURL http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金10:00～15:00 休憩時間12:00～13:00 休日(土日祝日)